



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 フォトロン

コード番号 6879

URL <http://www.photron.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 塚田真人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 社長室長

(氏名) 竹岡峰夫

TEL (03)3238-2170

四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,489	11.0	102	47.2	67	327.9	△22	—
22年3月期第1四半期	1,341	△31.4	69	△84.5	15	△96.8	△44	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△3 04	—
22年3月期第1四半期	△6 08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	5,456	3,688	64.9	485 37
22年3月期	5,671	3,794	64.5	501 04

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 3,541百万円 22年3月期 3,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0 00	—	10 00	10 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,250	11.7	200	65.7	200	96.0	100	513.3	13 70
通期	7,000	5.1	630	3.5	640	4.0	380	5.3	52 07

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	7,547,550株	22年3月期	7,547,550株
23年3月期1Q	250,111株	22年3月期	250,042株
23年3月期1Q	7,297,491株	22年3月期1Q	7,297,508株

（注意事項）

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が終了し、8月11日付でレビュー報告書を受領しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
「参考資料」	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国の需要などに支えられ輸出企業中心に緩やかな回復基調をたどっておりますが、雇用情勢に改善が見られないことや欧州での財政危機など今後の見通しについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下で、当社グループでは、バージョン・アップ製品の効果が現れたCAD関連製品や、「Photron・Kada」ブランドの浸透効果が現れた医用画像機器などの売上は好調に推移いたしました。高速度デジタルビデオカメラでの、価格競争の激化等による売上減少をカバーするまでには至りませんでした。このような結果、連結売上高14億8千9百万円（前年同期比11.0%増）、連結営業利益1億2百万円（前年同期比47.2%増）、連結経常利益6千7百万円（前年同期比327.9%増）、連結四半期純損失2千2百万円（前年同期は連結四半期純損失4千4百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

①イメージングシステム事業

高速度デジタルビデオカメラにおいて、国内・海外ともに、研究開発投資抑制による需要の減退に加え、競合他社との販売競争が激化し、また部品の納入が遅延したことによる出荷の遅れも影響を及ぼしました。一方、新規市場及びミドルレンジ市場攻略に向けた製品開発に注力しております。このような結果、売上高7億2百万円、営業利益1千2百万円となりました。

②ソリューション事業

放送局やポストプロダクションの設備投資は引き続き低調であることに加え、取扱商品の大幅な価格下落の影響からプロフェッショナル映像関連製品の売上高は低迷いたしました。高速度デジタルビデオカメラのテレビ放送や映画制作向けレンタル案件の増加などにより営業利益は確保できました。前年度から継続していた大型案件などを成約することができた教育映像関連製品や、前年度第4四半期にバージョン・アップを行った主力製品である図脳Rapid16シリーズの販売好調に加え、専門分野における大型案件を成約することができたCAD関連製品は順調に推移いたしました。また、医用画像関連製品は装置メーカーや医療商社等との販売協力体制強化が奏功し、知名度の向上にもつながり、他社装置からの転換も増加するなど順調に推移いたしました。このような結果、売上高4億2千7百万円、営業利益3百万円となりました。

③LSI開発事業

プロジェクタやフラットパネルディスプレイなど当社グループの主力需要先である業務用のデジタル電気製品市場が好調に推移したことに加え、新規市場における販売も順調に拡大いたしました。このような結果、売上高3億5千9百万円、営業利益8千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、45億7千3百万円となりました。これは、現金及び預金が増加した一方、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、8億8千3百万円となりました。これは、有形固定資産の減価償却などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、54億5千6百万円となりました。

2)負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、16億3千4百万円となりました。これは、買掛金の減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.1%増加し、1億3千3百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金の増加などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、17億6千7百万円となりました。

3)純資産

少数株主持分を含めた純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し、36億8千8百万円となりました。主な減額要因は、利益剰余金の減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、前連結会計年度末に比べて3億9千2百万円増加し、27億1千2百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

1)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は5億1千8百万円となりました（前年同期は2千1百万円の使用）。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益5千3百万円、売上債権の減少額6億4千2百万円、賞与引当金の増加額4千2百万円などであり、一方支出の主な内訳は、仕入債務の減少額1億8千5百万円、法人税等の支払額3千2百万円、その他の負債の減少額3千2百万円などであります。

2)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1千2百万円となりました（前年同期は2千6百万円の使用）。

これは、有形固定資産の取得による支出5百万円、無形固定資産の取得による支出7百万円などによるものであります。

3)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は7千4百万円となりました（前年同期は7千4百万円の使用）。

これは、配当金を7千4百万円支払ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも平成22年5月12日に発表した内容から変更はありません。

また、通期配当見通しについても、平成22年5月12日に発表した内容から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

3 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ14,892千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は610千円であります。

2 四半期連結損益計算書関係の表示方法

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,730,471	2,338,523
受取手形及び売掛金	1,080,818	1,691,805
たな卸資産	567,454	560,834
繰延税金資産	73,612	68,040
その他	121,019	102,453
流動資産合計	4,573,377	4,761,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	498,843	498,843
減価償却累計額	△394,754	△391,517
建物及び構築物(純額)	104,088	107,325
機械装置及び運搬具	101,339	102,465
減価償却累計額	△85,747	△85,034
機械装置及び運搬具(純額)	15,591	17,431
土地	337,974	337,974
その他	454,769	460,188
減価償却累計額	△366,395	△365,259
減損損失累計額	△2,160	△2,160
その他(純額)	86,212	92,767
有形固定資産合計	543,866	555,499
無形固定資産		
ソフトウェア	56,651	54,745
その他	7,871	7,918
無形固定資産合計	64,522	62,664
投資その他の資産		
投資有価証券	10,920	11,996
関係会社株式	30,300	30,300
敷金及び保証金	113,855	128,889
繰延税金資産	61,065	60,627
再評価に係る繰延税金資産	21,011	21,011
その他	37,468	38,800
投資その他の資産合計	274,620	291,624
固定資産合計	883,009	909,788
資産合計	5,456,387	5,671,444

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	401,357	598,230
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払金	41,268	51,299
未払法人税等	77,403	50,357
繰延税金負債	3,300	3,481
賞与引当金	84,153	42,066
その他	227,217	204,712
流動負債合計	1,634,701	1,750,148
固定負債		
長期未払金	45,208	46,924
繰延税金負債	9,409	4,745
退職給付引当金	23,664	22,726
役員退職慰労引当金	50,990	48,469
その他	3,929	3,929
固定負債合計	133,203	126,795
負債合計	1,767,904	1,876,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,600	504,600
資本剰余金	400,692	400,692
利益剰余金	2,935,092	3,030,281
自己株式	△108,799	△108,771
株主資本合計	3,731,585	3,826,802
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,673	△1,035
繰延ヘッジ損益	—	△1,254
土地再評価差額金	△30,486	△30,486
為替換算調整勘定	△157,478	△137,691
評価・換算差額等合計	△189,638	△170,468
少数株主持分	146,535	138,165
純資産合計	3,688,482	3,794,499
負債純資産合計	5,456,387	5,671,444

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,341,236	1,489,055
売上原価	500,831	621,434
売上総利益	840,405	867,621
販売費及び一般管理費	770,948	765,353
営業利益	69,456	102,268
営業外収益		
受取利息	2,544	3,892
受取配当金	297	198
受取賃貸料	6,204	5,355
雑収入	4,352	1,107
営業外収益合計	13,398	10,554
営業外費用		
支払利息	3,025	2,964
為替差損	63,951	41,921
雑損失	4	13
営業外費用合計	66,982	44,900
経常利益	15,873	67,922
特別利益		
固定資産売却益	7,327	—
特別利益合計	7,327	—
特別損失		
固定資産売却損	366	—
固定資産除却損	34	108
減損損失	2,236	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,282
特別損失合計	2,637	14,391
税金等調整前四半期純利益	20,563	53,530
法人税等	64,938	65,801
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△12,270
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	9,942
四半期純損失(△)	△44,372	△22,213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,563	53,530
減価償却費	24,702	20,498
減損損失	2,236	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,282
為替差損益(△は益)	△3,236	18,627
退職給付引当金の増減額(△は減少)	746	938
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,417	2,521
賞与引当金の増減額(△は減少)	50,126	42,086
有形固定資産売却損益(△は益)	△6,961	—
有形固定資産処分損益(△は益)	34	108
受取利息及び受取配当金	△2,841	△4,090
支払利息	3,025	2,964
売上債権の増減額(△は増加)	505,110	642,668
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,828	△13,917
仕入債務の増減額(△は減少)	△365,449	△185,272
その他の資産の増減額(△は増加)	△16,434	△12,215
その他の負債の増減額(△は減少)	△57,740	△32,549
小計	94,471	550,181
利息及び配当金の受取額	2,841	4,090
利息の支払額	△2,374	△2,772
法人税等の支払額	△116,828	△32,761
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,890	518,739
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,156	—
有形固定資産の取得による支出	△8,985	△5,090
有形固定資産の売却による収入	17,760	—
無形固定資産の取得による支出	—	△7,628
貸付金の回収による収入	600	630
その他	△5,385	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,167	△12,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△28
配当金の支払額	△72,975	△72,975
少数株主への配当金の支払額	△1,048	△1,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,023	△74,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	62,779	△39,210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△59,301	392,854
現金及び現金同等物の期首残高	2,298,695	2,319,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,239,393	2,712,767

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	1,168,203	173,033	1,341,236	—	1,341,236
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,080	1,080	(1,080)	—
計	1,168,203	174,113	1,342,316	(1,080)	1,341,236
営業利益	69,205	251	69,456	—	69,456

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	884,710	158,651	297,874	1,341,236	—	1,341,236
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	276,293	15,657	3,800	295,752	(295,752)	—
計	1,161,004	174,309	301,675	1,636,988	(295,752)	1,341,236
営業利益又は営業損失 (△)	25,107	△ 3,550	20,142	41,699	27,757	69,456

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・英国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	189,022	297,874	135,348	622,245
II 連結売上高(千円)				1,341,236
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	14.1	22.2	10.1	46.4

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・・・・・・米国、カナダ

欧州・・・・・・・・欧州諸国

その他の地域・・・中国、韓国

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、L S I 開発においては連結子会社であるアイチップス・テクノロジー(株)が、医用画像機器においては連結子会社であるフォトン メディカル イメージング(株)が、その取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部及び連結子会社を基礎として、類似の製品・サービスについては意思決定や業績評価を取りまとめる単位をセグメントとして構成されており、「イメージングシステム事業」「ソリューション事業」及び「L S I 開発事業」の3つを報告セグメントとしております。

「イメージングシステム事業」は、高速度デジタルビデオカメラ等の製造販売を行っております。「ソリューション事業」は、プロフェッショナル向け映像機器、教育関連映像機器、CADソフトウェア及び医用画像機器等の製造販売及び輸入販売を行っております。「L S I 開発事業」は、画像処理用L S I の開発及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	イメージングシステム	ソリューション	L S I 開発	計		
売上高						
外部顧客への売上高	702,547	427,453	359,054	1,489,055	—	1,489,055
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,244	1,244	△ 1,244	—
計	702,547	427,453	360,298	1,490,299	△ 1,244	1,489,055
セグメント利益	12,668	3,661	85,938	102,268	—	102,268

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
イメージングシステム事業	599,563	—
ソリューション事業	152,463	—
L S I 開発事業	360,313	—
合計	1,112,339	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、製造原価(販売価格)によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当社グループは、需要予測に基づく見込生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
(製品)		
イメージングシステム事業	633,326	—
ソリューション事業	234,598	—
L S I 開発事業	359,054	—
製品計	1,226,979	—
(商品)		
イメージングシステム事業	69,221	—
ソリューション事業	192,854	—
商品計	262,076	—
合計	1,489,055	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結会計期間		当第1四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
インターニックス(株)	110,563	8.2	264,422	17.8

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。